

# 2012年3月期 決算説明会

ウシオ電機株式会社

2012年5月9日

〈免責事項〉本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

\*本資料の記載は、一部を除き切捨てによる億円単位で表記しております。

# USHIO

Lighting —Edge Technologies

- 
- I. **2011年度通期業績概況**
  - II. 2012年度業績予想
  - III. 中期ビジョン
  - IV. 参考資料

# 今回の決算発表のポイント

- 連結売上高は、対前期比3.4%増の1,500億円、連結営業利益は、対前期比23%減の106億円。
- 装置事業： 映像装置分野では、デジタルシネマプロジェクタの需要が拡大し、ノンシネマ分野も、各種製品の需要が堅調に推移。  
光学装置分野では、エレクトロニクス関連の露光装置の販売が低迷。また、EUV光源装置関連では研究開発投資が先行。
- 光源事業： シネマプロジェクタ用クセノンランプが引き続き堅調に推移。  
露光用UVランプなどはリプレイス需要が低迷、  
データプロジェクタ用ランプ及びハロゲンランプも景気低迷等の影響を受けた。
- 配当は22円の据え置き。
- 業績の主な要因は、「液晶・半導体業界の低迷」「売上構成の変化」「期中を通じた円高の影響」の3点。

# 業績サマリー

(億円)	FY10	FY11	YoY		FY10	FY11	YoY	
	4Q	4Q	増減	%	通期累計	通期累計	増減	%
売上高	379	394	+ 14	+3.7	1,451	1,500	+49	+3.4
営業利益	31	16	▲15	▲47.6	140	106	▲33	▲23.8
営業利益率 (%)	8.4	4.2	▲4.1P	—	9.7	7.1	▲2.5P	—
経常利益	46	28	▲18	▲39.3	173	131	▲42	▲24.5
当期利益	10	15	5	53.9	95	87	▲8	▲8.7
EPS (円)	7.77	12.17			71.72	66.26		
為替レート (円)								
USD	85	79			85	79		
EUR	113	110			113	110		

為替による通期の影響額 (億円)	売上高	営業利益	経常利益
USD	▲13	▲2	▲3

## 業績サマリー 《四半期比較》

(億円)	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	355	395	355	394
営業利益	27	37	25	16
営業利益率 (%)	7.7	9.5	7.1	4.2
経常利益	37	30	34	28
当期利益	34	11	25	15
EPS (円)	25.68	8.58	19.73	12.17
為替レート (円)	USD	81	79	79
	EUR	118	114	111

## セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率

(億円)		FY10	FY11	YoY		FY10	FY11	YoY	
セグメント		4Q	4Q	増減	%	通期累計	通期累計	増減	%
装置事業	売上高	229	251	+21	+9.4	846	943	+97	+11.5
	営業利益	12	▲2	▲14	▲117.6	54	27	▲26	▲48.3
	営業利益率 (%)	5.5	▲0.9	▲6.4P	—	6.4	3.0	▲3.4P	—
光源事業	売上高	138	133	▲5	▲4.2	573	524	▲49	▲8.6
	営業利益	18	19	0	+5.1	84	76	▲7	▲8.5
	営業利益率 (%)	13.1	14.4	+1.3P	—	14.6	14.7	+0.1P	—
その他	売上高	10	9	▲1	▲14.1	31	32	+1	+5.8
	営業利益	0	0	▲0	▲53.8	1	1	▲0	▲24.9
	営業利益率 (%)	3.7	2.0	▲1.7P	—	4.7	3.4	▲1.3P	—

## セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率 《四半期比較》

(億円)		1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	装置事業	214	255	222	251
	光源事業	135	130	125	133
	その他	6	9	7	9
	合計	355	395	355	394
営業利益	装置事業	6	15	8	▲2
	光源事業	19	22	15	19
	その他	0	0	0	0
	合計	27	37	25	16
営業利益率 (%)	装置事業	3.1	5.9	3.8	▲0.9
	光源事業	14.7	17.4	12.0	14.4
	その他	3.0	0.1	10.1	2.0
	合計	7.7	9.5	7.1	4.2

- 
- I. 2011年度通期業績概況
  - II. 2012年度業績予想**
  - III. 中期ビジョン
  - IV. 参考資料

## 2012年度通期業績予想

	FY11	FY12	YoY	2Q (FY12)
(億円)	(実績)	(予想)	(増減)	(予想)
売上高	1,500	1,650	+149	800
営業利益	106	120	+13	45
営業利益率 (%)	7.1	7.3	-	5.6
経常利益	131	145	+13	55
当期利益	87	100	+12	40
EPS (円)	66.26	76.26	-	30.50
ROE (%)	5.6	6.2	-	2.5
配当 (円)	22	22	-	-
配当性向 (%)	33.2	28.8	-	-
設備投資額	89	80	▲9	-
減価償却費	71	50	▲21	-
研究開発費	86	98	+11	-
為替レート (円)				
USD	79	80	-	-
EUR	110	105	-	-

## 2012年度通期業績売上高予想（事業セグメント別）

(億円)		FY11	FY12	YoY
		(実績)	(予想)	(増減)
装置事業	映像装置	657	610	▲47
	光学装置	273	410	+137
	照明装置他	12	20	+8
	合計	943	1,040	+97
光源事業	放電ランプ	411	450	+39
	ハロゲンランプ	115	120	+5
	合計	524	570	+46
その他	産業機械・その他	33	40	+7
	合計	1,500	1,650	+150

# 2012年度装置事業セグメント

## ◆映像装置：

デジタルシネマ分野は、先進国はピークを越える可能性あるが、新興国を中心にデジタル化が進展。各地域でのシェア維持と拡大を重視した展開。

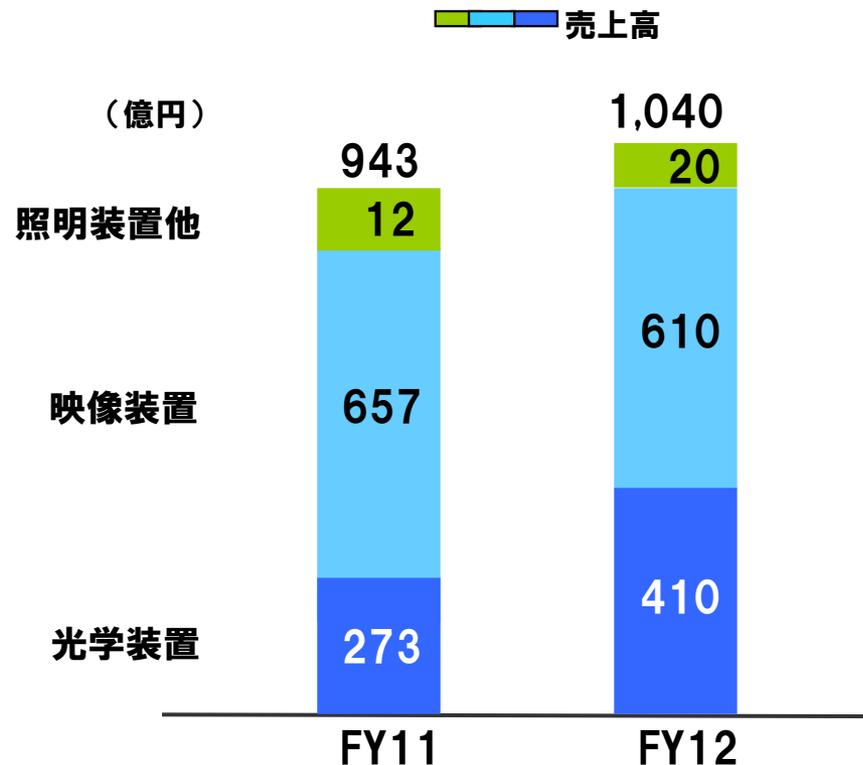
ノンシネマ分野も、バーチャルリアリティやデジタルサイネージを始めとしたデジタルプロジェクタの普及・拡大を積極的に推進。

## ◆光学装置：

液晶・半導体関連市場は依然として調整局面だが、在庫調整の進展と、スマートフォンやタブレット端末の市場拡大により、台湾や中国を中心に回復基調。

日本でも期の後半にかけて回復してくるものと想定。

その他電子部品関連市場も、LLO需要やWLP、MPUなどでの設備投資を期待。



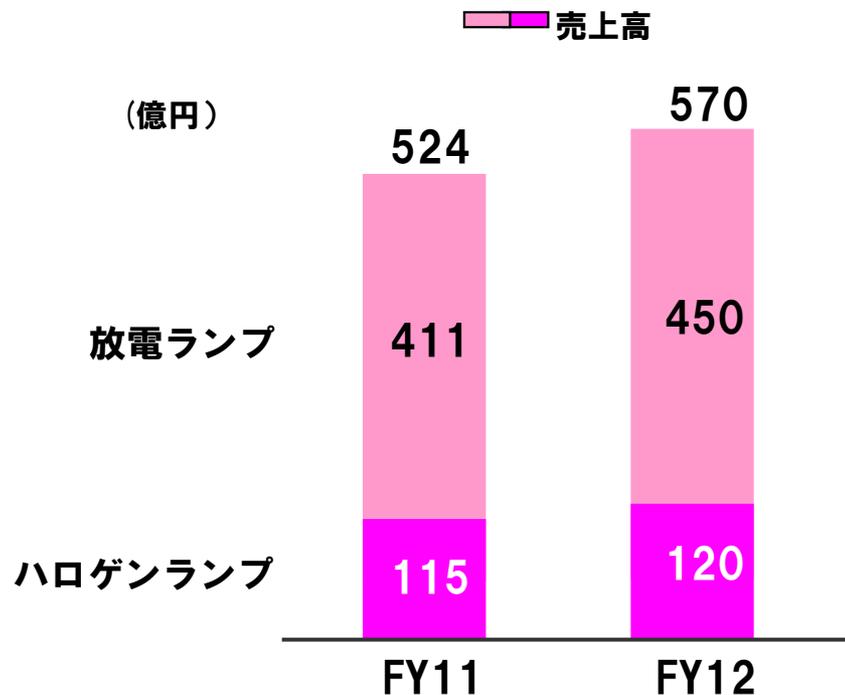
# 2012年度光源事業セグメント

## ◆放電ランプ：

液晶・半導体関連市場は設備稼働率の回復も期待され、UVランプの需要の回復を見込む。シネマ用クセノンランプは堅調に推移。データプロジェクタ関連は、新興国を中心に需要が見込まれ、市場全体としては7～8%程度の成長率と予想。

## ◆ハロゲンランプ：

OA関連は、タイでの洪水発生後の緊急対応で、特に第4四半期から今期第1四半期にかけて製品の出荷が増加。



- 
- I. 2011年度通期業績概況
  - II. 2012年度業績予想
  - III. 中期ビジョン**
  - IV. 参考資料

## 2012年発表中期ビジョン 定量目標（2015年3月期達成）

---

### ウシオグループのあるべき姿

---

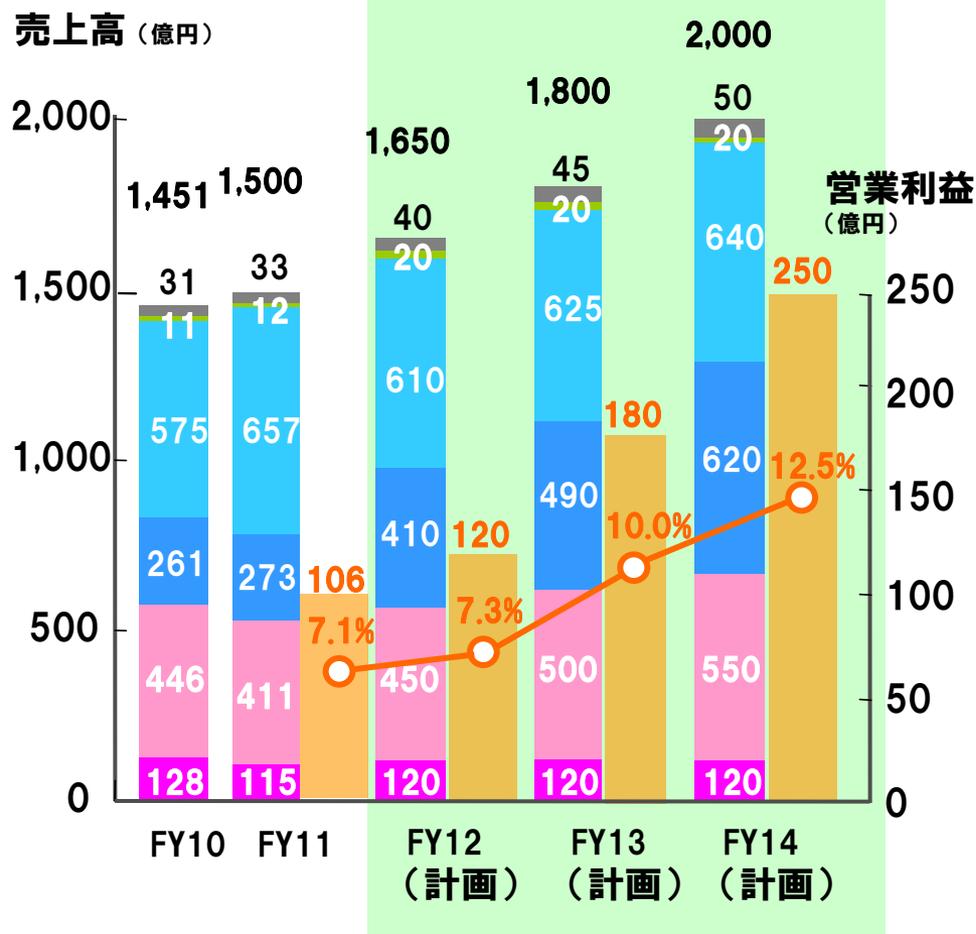
光関連事業において、世界No.1のブランドと技術力を誇り、顧客ニーズを満たす最適なソリューションを常に提案できる【光創造企業】を目指す。

### 中期ビジョン定量目標（カッコ内は2012年3月期実績）

---

売上高	2,000億円	（1,500億円）
営業利益	250億円	（106億円）
ROE	10%以上	（5.6%）

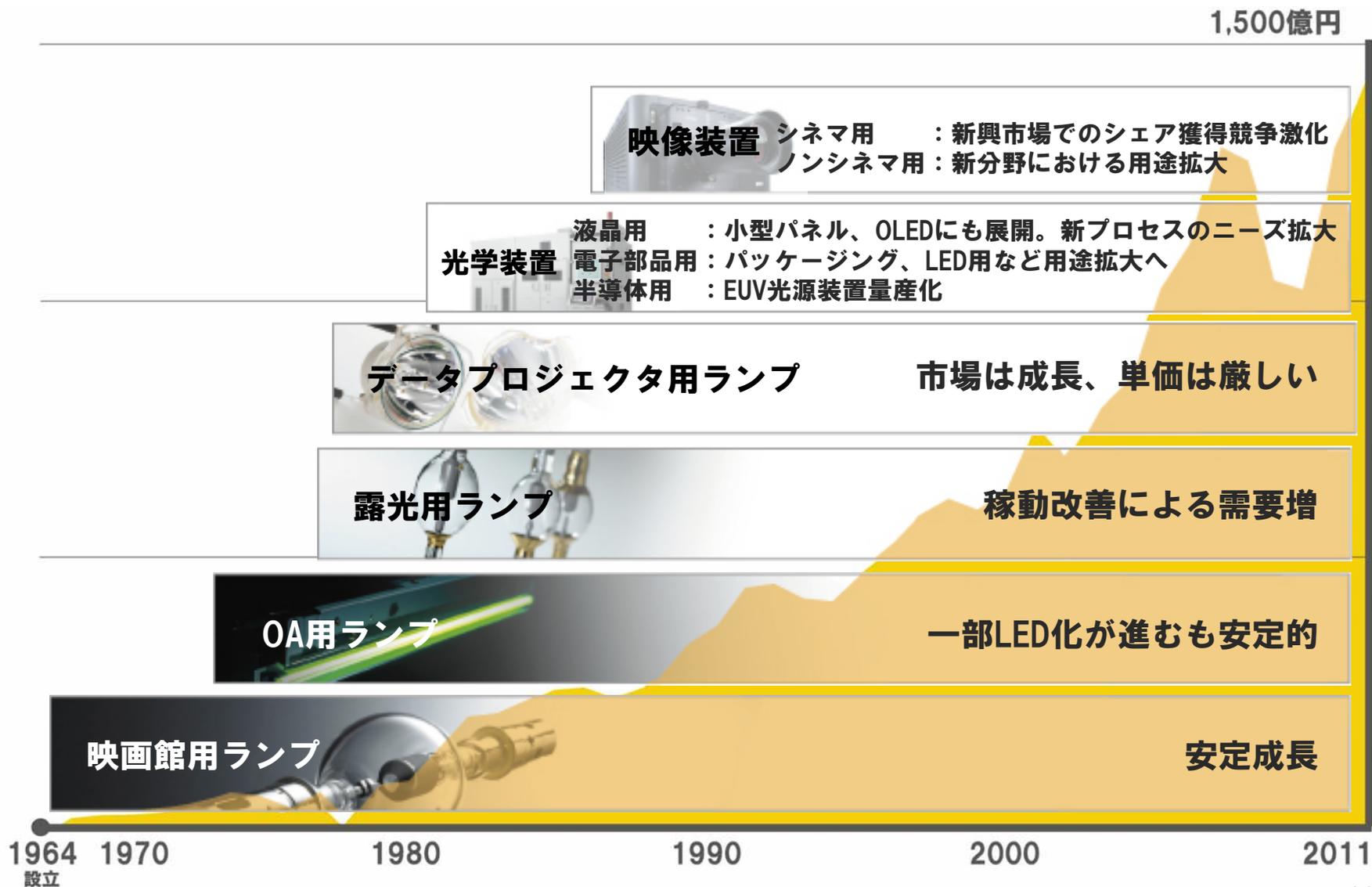
# 2012年発表中期ビジョン 売上高（サブセグメント別）・営業利益



セグメント	サブセグメント	FY14 売上高 (億円)	3年間の成長率 (%)
装置事業	映像装置	640	▲2.6
	光学装置	620	+127.1
	照明装置	20	+66.7
	小計	1,280	+35.9
光源事業	放電ランプ	550	+33.8
	ハロゲンランプ	120	+4.3
	小計	670	+27.4
その他	産業	50	+51.5
合計		2,000	+33.3

営業利益		営業利益率	
億円	3年間の成長率 (%)	%	3年間の成長率 (P)
250	+135.8	12.5	+5.4

# 主要製品・事業の変遷と関連市場の今後の見通し



# 成長のための重点事業戦略

## 映像装置

- ◆デジタルシネマ事業の収益確保
- ◆ノンシネマ事業の成長と拡大（成長ドライバー）

## 光学装置

- ◆液晶・半導体・高精細プリント基板製造を支える製品の提供（成長ドライバー）

露光装置：アドテックエンジニアリングとのシナジー

液晶パネル製造用装置：大型テレビ用以外にも展開。

新プロセスの拡販。

- ◆次世代半導体製造用、最先端露光事業（EUV）の確立

## その他

- ◆新製品、新事業（メディカル、ライフサイエンス）
- ◆固体光源
- ◆業務提携・合併・M&Aの推進

## 投資計画

### ◆研究開発投資

EUV、固体光源、新事業（メディカル、ライフサイエンス）を中心に集中投資。売上高の5～6%を目途。

### ◆設備投資

EUV、固体光源、新事業を中心に実施。

## 株主還元

### ◆配当政策

安定配当。連結配当性向25～30%を目途。

### ◆自己株取得

株価の推移などにより、株主還元策として機動的に実施。

# ノンシネマビジネスについて

セグメント	販売先	用途	製品名	関連市場	来年度以降3年間の見通し
ビジュアル・エンバイロメント (VE)	自動車メーカー、ゼネコン、大学・研究機関、消費財メーカー	バーチャルリアリティ	Mirage-J Series Mirage-M Series HoloStage Series	製造業、建築業、学術	新興国で需要増
	自衛隊、造船メーカー 研究機関	シミュレーション	Matrix	防衛、造船、学術	新興国で需要増
ビジネスプロダクト (BP)	防災、警察 管制センター	コントロールルーム	Video Wall Display	インフラ	上昇 特に新興国
	ホール・大会議室 (企業・教育機関) コンサートホール スタジアム	ラージベニュー	J-Series M-Series Roadster	エンターテインメント、 オフィスデベロッパー、 教育関連市場	ゆるやかな成長
	レンタル会社	ラージベニュー、 プロジェクションマッピング、 サイネージなど	J-Series M-Series Roadster	広告、エンターテインメント	ゆるやかな成長
	テレビ局、 レンタル会社、 ゼネコン、大企業	コントロールルーム、 サイネージ	MicroTiles	放送、広告、エンターテインメント、 建築	放送、エンターテインメント分野などで需要増



# 株式会社アドテックエンジニアリング会社概要



**設 立** 1983年10月26日  
(2006年4月ジャスダック上場)

**所 在 地** 本社 東京都港区虎ノ門  
工場 新潟県長岡市

**従 業 員 数** 224名

**事 業 内 容** 主にプリント基板向けの露光装置メーカー。  
コンタクト式露光機(自動・半自動)、直描式  
露光機と幅広いソリューションを展開。

**直 近 の 業 績** 売上高 9,428百万円  
(2011年9月期) 営業利益 515百万円

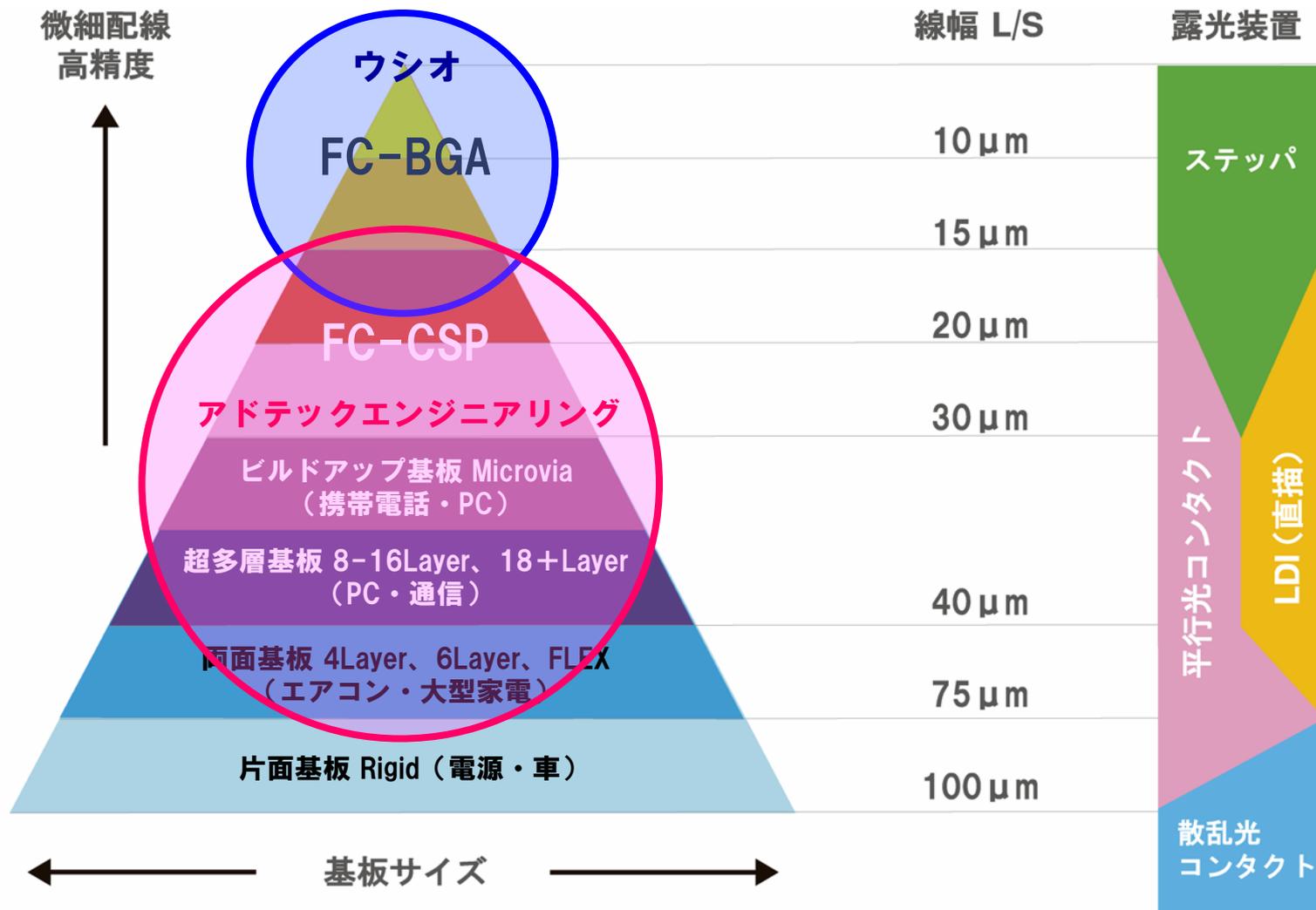
**当 社 と の 係 関** 2010年5月19日 資本業務提携

持分比率25.68%(除、自己株式)  
→持分法適用関連会社

今回、公開買付け(TOB)等により65%  
以上の持分となり、2012年3月期末より  
連結子会社。



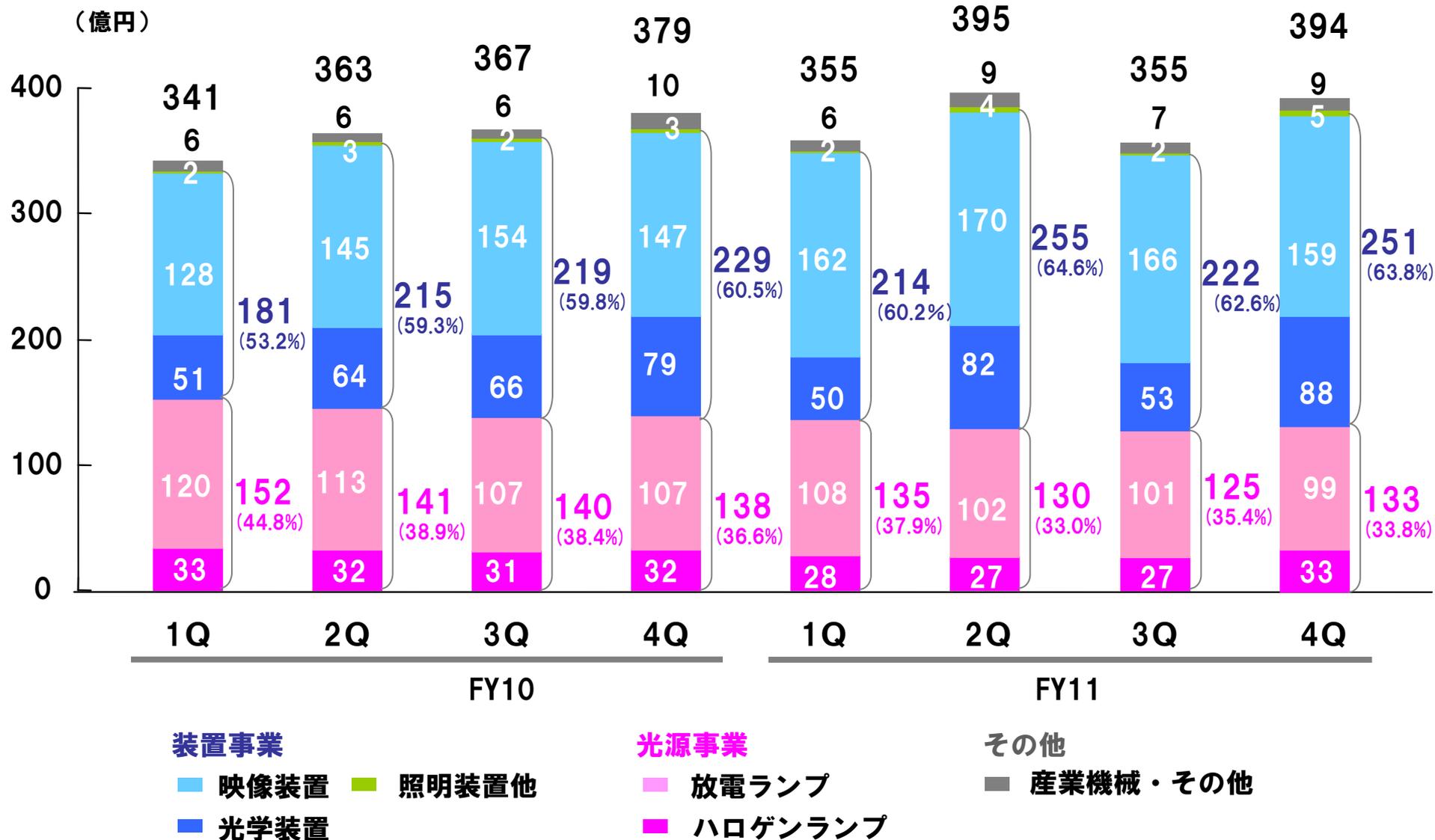
# プリント基板市場におけるウシオ、アドテックエンジニアリングのポジショニング



**USHIO**

- 
- I. 2011年度通期業績概況
  - II. 2012年度業績予想
  - III. 中期ビジョン
  - IV. 参考資料**

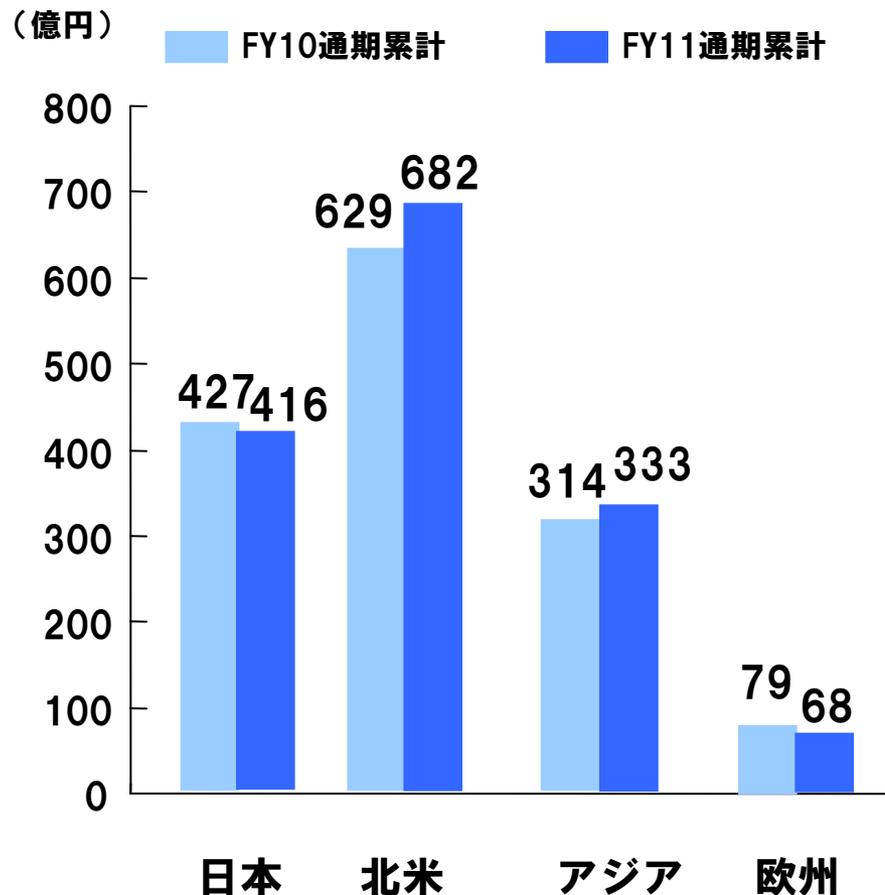
# サブセグメント別売上高 《四半期比較》



※本ページの事業別の数値は切り捨て、製品別の数値は四捨五入による億円単位で表示しております。

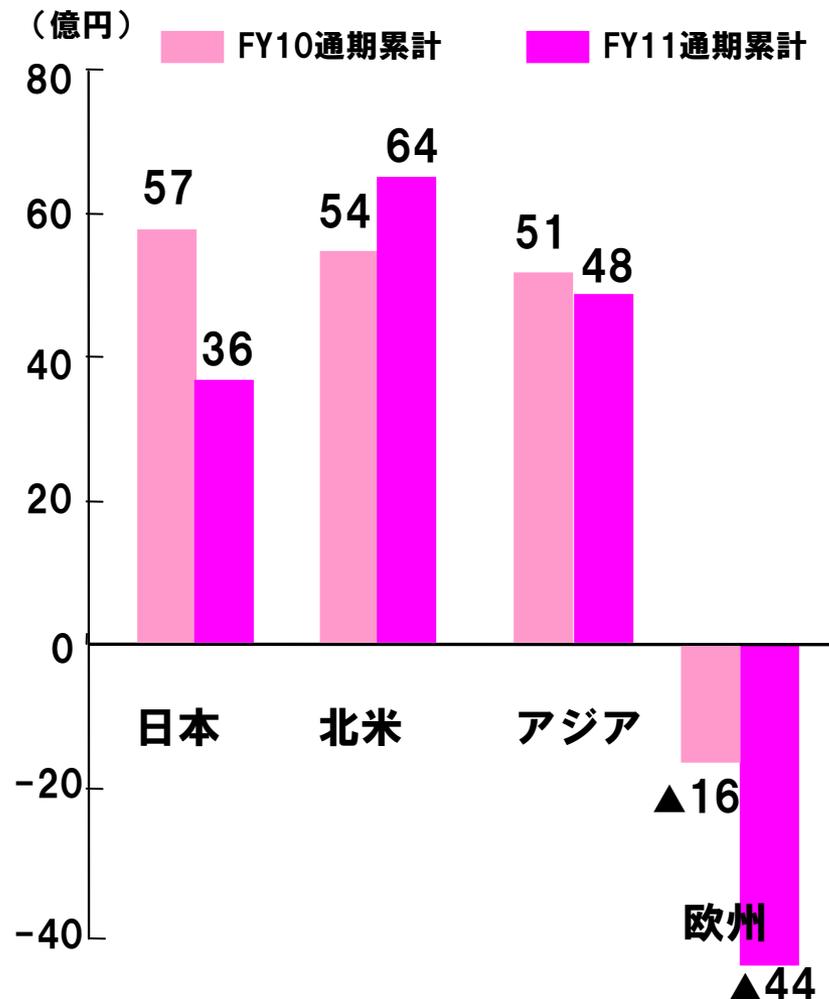
# 地域別損益

## ◆売上高



全体：装置事業を中心に増収  
北米：映像機器の売上貢献大

## ◆営業利益



全体：円高と景気悪化による減益  
北米：映像分野の増収と収益性の改善  
欧州：エクストリームの開発負担による影響

## 営業外収支

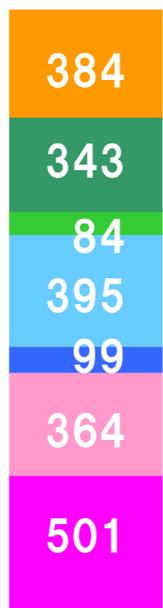
(億円)	FY10通期累計	FY11通期累計	YoY
<b>営業外収益</b>	45	32	▲12
受取利息	2	3	+0
受取配当金	8	9	+0
投資有価証券売却益	12	14	+1
持分法による投資利益	15	1	▲14
その他	5	4	▲0
<b>営業外費用</b>	11	7	▲3
支払利息	2	2	▲0
為替差損	4	4	▲0
その他	5	1	▲3
<b>営業外収支</b>	33	24	▲9

# BS内訳

## ◆資産

(億円)

2,172



2011/3

増減

2,244 +71



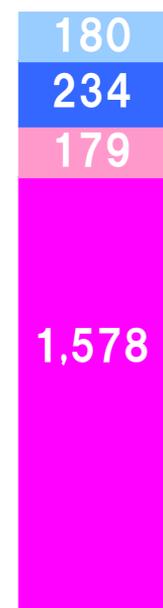
2012/3

- +31 現預金
- +32 受取手形・売掛金
- +35 有価証券
- +9 たな卸資産
- +13 その他流動資産
- +13 有形固定資産
- ▲66 無形固定資産・投資その他の資産

## ◆負債・純資産

(億円)

2,172



2011/3

増減

2,244 +71



2012/3

- +4 支払手形・買掛金
- ▲12 その他流動負債
- +37 固定負債
- +41 純資産

●回転月数 (ヶ月)      2011/3    2012/3

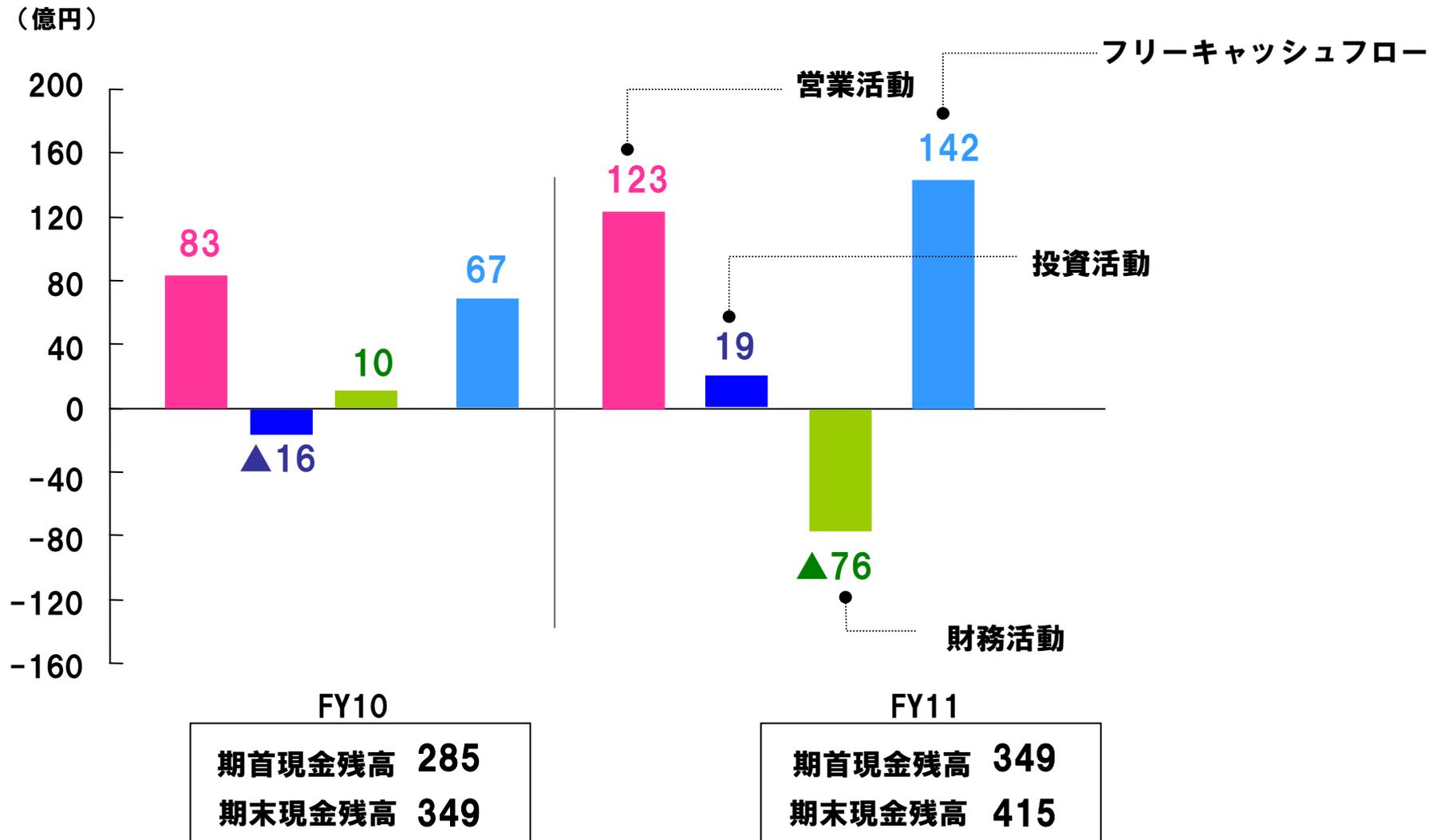
売上債権            2.7        2.9

たな卸資産        2.7        3.2

●自己資本比率      2011/3    2012/3

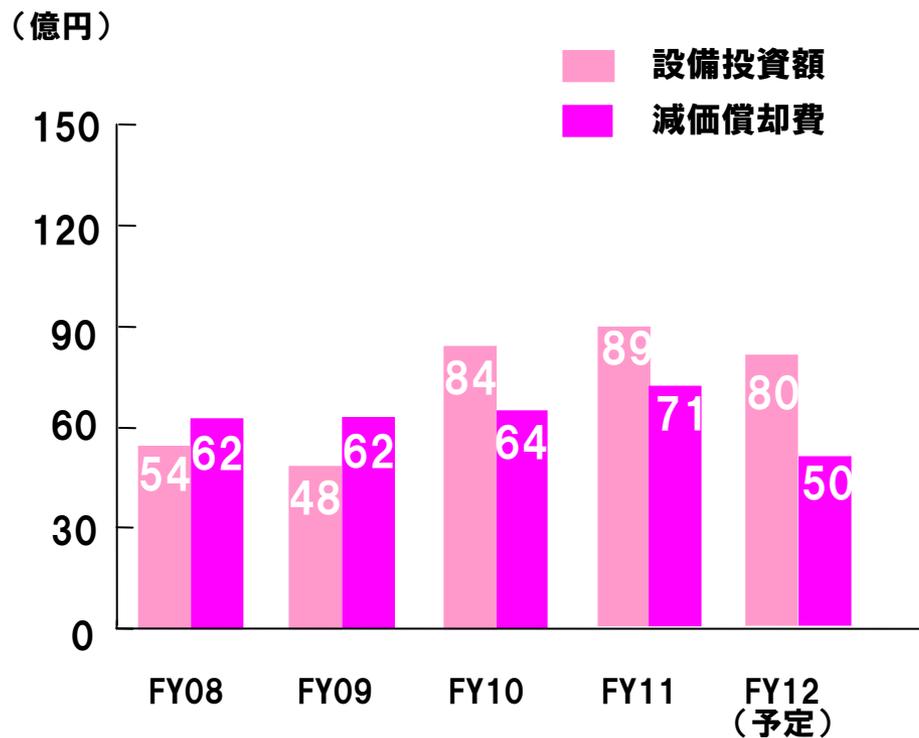
71.9%            70.8%

# キャッシュフロー

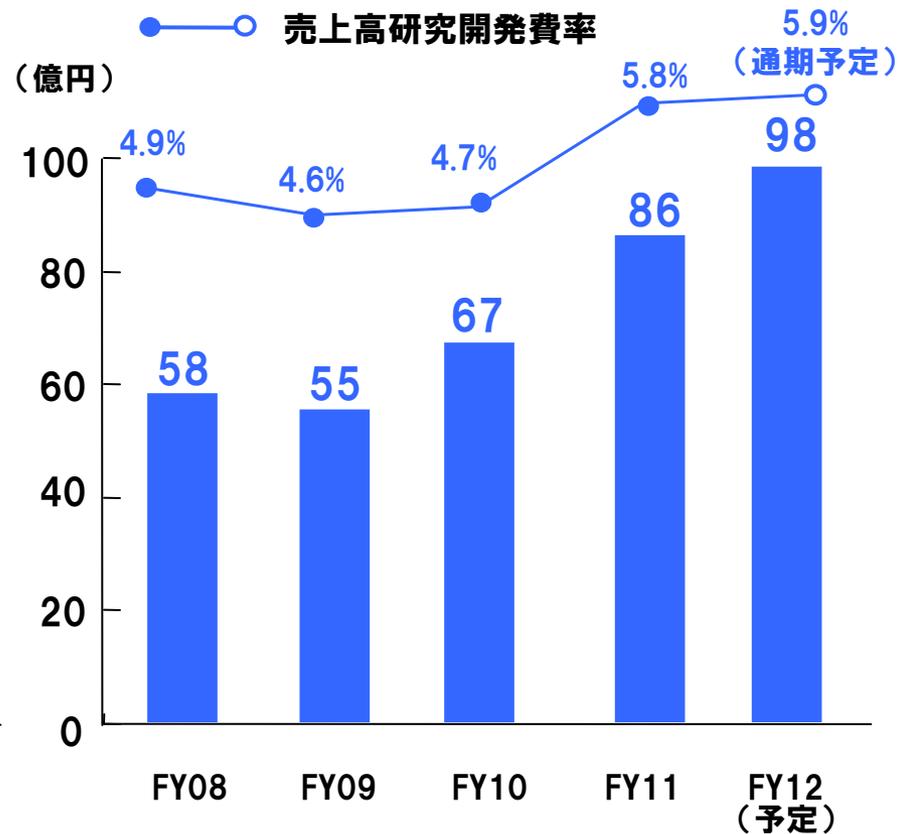


# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

## ◆設備投資額・減価償却費



## ◆研究開発費



# USHIO

本資料に関するお問い合わせ先  
ウシオ電機（株）広報IR室 （03）3242-1836  
[contact@ushio.co.jp](mailto:contact@ushio.co.jp)  
<http://www.ushio.co.jp/>